

○水生生物モニタリング調査結果一覧（いわき市沖M）

<いわき市沖M 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
M-1	○	○	—	—	○	—
M-2	○	○	○	○	○	○
M-3	—	○	—	—	○	—

<いわき市沖M 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)	
M-1	37.1736°	141.0788°	H28. 6. 21	—	08:05	—	12.4	細砂	10Y3/2	貝殻	—	—	
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°		08:55	09:04	19.7	11.8	細砂	10Y3/2	貝殻	43.1	17.5	
M-2 (下層)				08:26	—	11.4							
M-3	37.2324°	141.0935°	—	—	09:26	—	12.3	細砂	10Y3/2	貝殻	—	—	

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°	H28. 6. 21	08:55	8.1	0.8	1.3	8.9	5130	33.25	0.9	<1	0.2	N. D. (0.0014)	0.0035	—
M-2 (下層)				08:26	8.0	0.6	1.6	8.8	5180	33.70	1.0	3	0.5	N. D. (0.0013)	0.0044	0.0011

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
M-1	37.1736°	141.0788°	H28. 6. 21	08:05	7.7	266	29.1	1.9	2.2	2.767	0.6	1.0	5.9	86.1	4.5	1.9	0.15	4.8	6.8	37	—
M-2	37.1996°	141.0853°		09:04	7.8	272	29.4	2.2	2.0	2.750	0.7	0.8	7.7	85.3	2.9	2.6	0.15	4.8	7.2	34	N. D. (0.14)
M-3	37.2324°	141.0935°		09:26	7.6	280	29.8	2.0	2.0	2.762	0.0	0.2	2.8	88.4	4.7	3.9	0.14	2.0	13	71	—

<いわき市沖M 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
M-1 M-2 M-3	久之浜沖	37.1736° 37.1996° 37.2324°	141.0788° 141.0853° 141.0935°	H28. 6. 21	軟体動物	頭足	十腕形	コウイ	<i>Sepia andreana</i>	エゾハリイカ	3	0.12	成体	—	—	N. D.	N. D. (0.66)	N. D. (0.70)	—
					脊椎動物	硬骨魚	アコウ	アコウ	<i>Lophiomus setigerus</i>	アンコウ	4	2.9	未成魚	ホウボウ	内臓除去	N. D.	N. D. (0.37)	N. D. (0.38)	N. D. (0.016)
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	アサメ	<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ	2	1.3	成魚	エビ類	内臓除去	3.51	0.51	3.0	0.25
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	オホウ	<i>Lepidotrigla microptera</i>	カナガシラ	12	2.6	未成魚/成魚	エビ類	内臓除去	1.5	N. D. (0.33)	1.5	0.037
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>	イシガレイ	3	1.9	未成魚	貝類	内臓除去	5.04	0.84	4.2	0.13
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Pleuronichthys japonicus</i>	ナガレメイタガレイ	7	0.82	未成魚/成魚	ゴカイ類	内臓除去	1.1	N. D. (0.45)	1.1	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Microstomus achne</i>	ババガレイ	7	2.7	未成魚/成魚	空胃	内臓除去	2.80	0.50	2.3	0.20
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Pseudopleuronectes herzensteini</i>	マガレイ	2	0.34	未成魚/成魚	ゴカイ類	内臓除去	2.18	0.38	1.8	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ	6	3.8	成魚	貝類、ゴカイ類	内臓除去	2.49	0.39	2.1	0.017
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Eopsetta grigorjewi</i>	ムシガレイ	9	3.5	未成魚/成魚	エビ類	内臓除去	1.93	0.33	1.6	0.017
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ	3	3.4	成魚	カタクチイワシ	内臓除去	1.0	N. D. (0.32)	1.0	N. D. (0.017)
					脊椎動物	硬骨魚	フグ	フグ	<i>Takifugu poecilonotus</i>	コモンフグ	5	2.0	成魚	不明	内臓除去	0.71	N. D. (0.36)	0.71	0.029
					脊椎動物	硬骨魚	マトウガイ	マトウガイ	<i>Zenopsis nebulosa</i>	カガミダイ	4	0.16	未成魚	カタクチイワシ	内臓除去	4.19	0.79	3.4	—
					脊椎動物	軟骨魚	カンギエイ	カンギエイ	<i>Okamejei kenojei</i>	コモンカスベ	4	3.0	未成魚	エビ類、カニ類	内臓除去	14.3	2.3	12	0.19
					脊椎動物	軟骨魚	マンロサメ	ドチサメ	<i>Mustelus manazo</i>	ホシザメ	1	0.67	未成魚	カニ類	内臓除去	2.77	0.57	2.2	—
M-4	久之浜沿岸	—	—	H28. 6. 21	藻類・植物	褐藻	コソブ	コソブ	<i>Eisenia bicyclis</i>	アラメ	—	0.31	—	—	—	4.78	0.78	4.0	—
					軟体動物	腹足	古腹足	ミカイ	<i>Haliotis sp.</i>	アワビ類	3	0.23	成体	—	軟体部	0.42	N. D. (0.38)	0.42	—
					棘皮動物	ウニ	ホウニ	オホフウニ	<i>Strongylocentrotus nudus</i>	キタムラサキウニ	7	0.52	成体	—	—	1.5	N. D. (0.27)	1.5	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。